

第 1 回 江別市経済審議会 観光専門部会 議事録

日 時 平成 29 年 7 月 28 日(金) 14:30～17:00

場 所 江別市役所 第 2 別館 会議室 2 号

出席者 (敬称略・順不同)

平澤 亨輔 (札幌学院大学 経済学部 教授)

塩越 康晴 (江別消費者協会 会長)

和田 美和 (江別消費者協会 理事)

松浦 智幸 (一般社団法人江別青年会議所)

杉野 邦彦 (江別工業団地協同組合 代表理事)

岡村 恵子 (江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会 加工部会長)

事務局／江別市経済部商工労働課

事務局オブザーバー／株式会社 JTB 北海道 3 名

傍聴者／1 名

次 第

1. 開会

事務局・永嶋が開会を宣言し、第 1 回江別市経済審議会観光専門部会が開会した。

2. 開会の挨拶、事務局の紹介

開会にあたり、江別市経済部長・後藤好人より挨拶があった。

〔要旨〕 江別の観光に携わるすべての人々に対して、観光振興の指針となる江別市観光振興計画の策定にむけて、専門的な視点による集中した議論が必要という考えにより専門部会を設置していただいた。それぞれの立場から忌憚のない意見交換により本計画を取りまとめていただきたい。

引き続き事務局の紹介が行われた。(部長は公務の都合により、次第 3 のあと退席)

3. 部会長の選出

委員の互選により、平澤委員が部会長に選出され、以降、平澤部会長の進行で議事に入った。

4. 江別市観光振興計画策定までの流れ

事務局・根廻より、計画策定までのスケジュール案について説明があった。

専門部会は全 4 回開催を予定し、10 月中に観光振興計画案の原案を確定。その後市議会常任委員会への原案の報告、パブリックコメントの募集、市長への答申等の手続を行い、平成 30 年 3 月に計画書として取りまとめることが確認された。

5. 江別市観光の現状把握と課題の整理

事務局・根廻より、江別市観光の現状を把握するために昨年実施された各種調査内容の報告があり、それぞれについて意見交換を行った。

(1) SWOT分析

江別市の観光の現状を、「強み」「弱み」「機会」「脅威」の4つのカテゴリーに分けて整理したことから、江別市の観光資源の特徴や、江別市を取り巻く市場の動向などを確認した。

<主な質問・意見>

○観光振興にむけて、ターゲットをどう捉えるのか。市民と外部、どちらに力を入れるのか。また観光情報が的確とは言い難い事例が多々見られるがそれらの整備ができるのか。(塩越委員)

→ それらを課題として捉えたい。外からの誘客を求めるが、受入側の市民の観光の意識づくりと両面をバランスよく高めていきたい。また、情報発信が弱いという点については議論を通じて深めていきたいと考えている。(事務局)

●安倍先生の考察にある、「市民のための観光振興」は外せないと思う。江別ならではの観光を考えた場合、体験型や交流型で楽しめるものを掘り下げることか。地元にもメリットを実感できる、江別らしさを発信することで他地域との差別化にもつながると思う。(杉野委員)

●これまでも体験企画は好評で、体験を通じて新たな出会いを実感できることの魅力を伝えたい。また、江別は“食べる”店が多いので、料理を通じた交流体験や自然を活かしたイベント企画などでアピールする機会を広げるのがいい。一方アクセスの問題は残る。拠点を巡る企画を通じたルートづくりなどの工夫も必要ではないか。また、条丁目通りの建物に象徴される“歴史のまち”という視点を活かす取組にも期待したい。(岡村委員)

○安倍先生の考察に「石狩圏ポータル観光」とあるがそこまで広げて考えるのか。(塩越委員)

→ 観光は江別のみで完結するものではないが、近隣市町村との連携ほどの程度広げて考えるのかは議論の中で検討していきたい。(事務局)

●やきものと体験企画を結びつけ「作って楽しむ江別」のアピールも広めたい。(杉野委員)

●やきもとと食を結びつけた企画なども訴求力があるのではないか。(塩越委員)

●江別の物産が一堂に会した場所の必要性も感じる。(岡村委員)

●江別の魅力をひとつにまとめたパッケージ商品の開発も視野に入れてみたい。(杉野委員)

●江別駅と周辺のイメージ作りも必要ではないか。体験企画も含めて考えたい。(和田委員)

●スイーツの魅力にも可能性を感じる。(岡村委員)

●グルメ、スイーツのイベントとして毎年開催されている「まるごと江別」では、江別小麦を使ったピザ体験なども注目度の高い企画となっている。(松浦委員)

(2) 江別市地域ブランド調査

札幌および近郊に居住する男女500人を対象にしたインターネット調査から、江別市の観光資源(名所、特産品、イベント等)の魅力度や認知度の状況を共有した。

<主な意見>

●「魅力は感じるが情報発信力が弱い」ことを実感した。(杉野委員)

●食べ物の認知度が今一つ。歴史的なものへの関心も低い。発信の仕方が。またやきもの市の集客は減少傾向にある中で、通年で訴求できる方法の模索も必要ではないか。(塩越委員)

(3) 江別市観光資源アンケート調査

江別市内 302 社を対象にしたアンケート調査から、観光に期待すること、懸念すること、江別市の魅力や観光振興のために必要なことなど、市内事業者の思いを共有した。

<主な意見>

- 江別には宿泊施設がない。体験型の企画を充実させるのであれば、たとえば泊まることのできるおいしいレストランなどの宿泊体験施設も必要ではないか。(杉野委員)
- 温泉があるのに宿泊ができないという状況も残念だ。石狩川を利用した観光ルートの企画は考えられないだろうか。(塩越委員)
- 自然散策コースを拡充させることで新しいアピールにつながると思う。(和田委員)
- 委員の皆さんは食への魅力(野菜・農産加工品、地場産品)を実感しているようだ。(平澤部会長)

(4) 平成 11 年度江別市観光振興基本計画の検証

前回の基本計画は「水」「緑」「やきもの」を観光の軸に据え、それぞれのネットワーク化を目指したが十分な取組とはならなかった。しかし個々の資源の位置づけが明確になったことを踏まえて、次期計画では、戦略的な視点(現状を把握し、独自の価値観を提供する取組)で計画策定をすることに期待すると検証結果を確認した。

<主な質問・意見>

- 観光の大きな要素であるはずの“食”に対する内容がなかったのは驚きだった。(杉野委員)
- 当時は“やきもの”中心で展開していたようだ。(平澤部会長)
- “水”のテーマはあったが、歴史的なイメージは感じられなかった。(塩越委員)
- 防災ステーションは、道の駅的な機能があるものの中途半端な印象だが。(和田委員)
 - 元来防災のための施設で、国と市で管理しており、部分的に江別観光協会が活用している。今後江別市としては、道の駅の可能性について検討していかなければならないと考えている。(事務局)
- 防災ステーションからのロケーションの良さを感じるが。(塩越委員)
 - 夕陽や花火観賞などのビューポイントになっている。(事務局)

引き続き、事務局オブザーバーの(株)JTB 北海道より、江別観光の課題について、昨年まとめられた基本計画素案を参照した資料をもとに報告があった。

江別の観光の課題として、観光資源は「**突出した観光資源がない**」「**認知度が低い**」こと、また「**情報発信が十分ではない**」「**観光に対する市民の意識が低い**」ことや、「**観光目的のアクセスに物足りなさ**」があり、「**通過型観光が主流**」であることを確認した。

<主な意見>

- “尖らせること”が必要か。“総花的”な取組が中途半端な結果になっていたのでないか。ターゲットを決めて何を尖らせるのが大切ではないか。また、江別のイメージをどう作っていくのか。恵まれた立地条件、自然環境を活かす工夫が必要か。(杉野委員)
- 江別でしか買えない魅力ある特産品があるべきで、希少性のある商品を磨き上げることも必要。

またお土産屋さんが無い。観光地のお土産屋さんというイメージの施設があってもいいと思う。(塩越委員)

6. 計画の方向性の確認

事務局オブザーバーの(株)JTBC 北海道より、江別観光の方向性について、昨年まとめられた観光振興計画素案を参照した資料をもとに報告があった。

方向性は、立地的な特徴を強みとした観光資源を最大限に活かすこととし、日常の延長線上で楽しめる観光像をベースに**札幌圏を軸にした誘客を目指し**、その上で**「市民や事業者が実感する観光まちづくり」「魅力を伝える観光プロモーション」「観光資源を活かした魅力づくり」**を基本方針の軸に展開することとし、その内容が確認された。

<主な意見>

● 海外客も魅力を感じる資源があると理解したが、同時に江別市民も魅力を感じる内容であってほしいと思う。(杉野委員)

● 各資源を組み合わせた楽しみが共有できる拠点づくりやアクセスを整備することもイメージしたい。また、江別駅の周辺施設の再利用を考えた企画にも可能性を感じる。(塩越委員)

● 道央圏から近いところで発見できるという意味では、提示されている江別市の新たな観光像のコピー「すぐ近くにある歓びと発見。ここち好い江別。」も共感できる。普段着で来て、いろいろ体験しておいしいものを食べて、お土産を買って帰る、という気軽さを打ち出すのがいまの江別なのかと感じた。(岡村委員)

◎ 3つの基本方針や観光像のコピーについては、今後の議論後に修正もあると思うが、これを基に考えていくこととしてよろしいか。(平澤部会長)

→ 異議なし(委員全員)

7. 閉会

次回は、第1回の議論を踏まえ、具体的な取組案の検討を行うことを確認した後、平澤部会長が部会閉会を宣言し、第1回江別市経済審議会観光専門部会を閉会した。

以上